

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (中国)	◎	*	*	*
	○	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているものの、重症化率が低いため、徐々に従来の状況に戻ってきている。
	○	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	販売量の動き	・高価格でも高品質の商品であれば売れるようになってきている。
	○	一般小売店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べると、来客数や売上は改善しているが、客単価は減少している。商品の値上げが続く状況で、客の価格に対する姿勢が厳しくなっている。
	○	一般小売店〔靴〕（経営者）	販売量の動き	・高単価商品の販売数が増加している。
	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症に関する行動制限がなかったため、お盆の帰省等で、来客数は前年を上回っている。
	○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年と比べると、来客数も売上も回復傾向にある。ただし、濃厚接触者認定による従業員出勤制限が解除されないと、従業員不足で営業が困難になる。
	○	コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・来客数が前年を上回る状況が続いている。夏休み期間は観光客やイベント目的で滞在する客の来店が目立っていた。時間帯別では、日中の来客数の増加が目立っており、夕方以降は新型コロナウイルスの感染拡大もあり、客が外出を控える傾向にある。
	○	家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・来客数は減少しているが、客単価は上昇している。
	○	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・8月の販売量は前年比130%となっている。
	○	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が拡大しているが、販売数に影響はない。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	来客数の動き	・3か月前と比べ、新型コロナウイルスの新規感染者数が爆発的に増加しているが、ウィズコロナが進んでいるため、人々の行動は思ったほど抑制されていない。一時的に来客数が減少したが、すぐに戻ってきている。
	○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・8月の第1週は新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、売上が前年を下回った。ただし、夏祭りや花火大会の開催もあり、家族連れや友達同士の利用が増加し、お盆期間は一気に売上が増加している。その後も好調に推移し、売上は新型コロナウイルス発生前の85%くらいまで回復している。
	○	都市型ホテル（総支配人）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが低いことから、客の旅行機運が高まりつつある。
	○	通信会社（企画担当）	お客様の様子	・ウィズコロナで日常の身の回りの活動や購買が通常の状態に戻ってきている。
	○	放送通信サービス（総務経理担当）	お客様の様子	・利用料の延滞率が低下し、延滞金回収率が改善している。
	○	美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響で、店は暇である。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・夏のイベントや売出し企画を開催すると、人出が増えるが、普段は余りにぎわっていない。暑さのためか新型コロナウイルス感染症の影響のためか分からないが、日中の気温が高い時間帯は来客数が少ない。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・お盆休み以降、全国的に新型コロナウイルスの新規感染者数が急激に増加している。従業員からも新規感染者や濃厚接触者が出てきており、スタッフ不足で休業せざるを得なくなっている。
	□	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	販売量の動き	・土日に多少、客の動きがあるが、売上にはつながっていない。
□	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・値上げや菓籠り需要減少のため、家庭用品、食料品の販売量は前年を下回ったが、服飾雑貨、衣料品、観光土産品が好調だったため、全体では、販売量は前年を5%程度上回っている。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で、来客数が減少している。また、従業員の感染や濃厚接触認定による人手不足への対応が不十分なため、一部売場では営業時間の短縮や臨時休業も発生しており、来客数や売上が減少している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、平日の来客数は少なかった。お盆時期は来客数や売上が前年を上回ったが、平日のマイナスのカバーはできていない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしているが、全体的な客の動向に大きな変化はなく、ギフト解体セールなど食品催事は好調に推移している。ただし、高齢者の来店が厳しい状況にあるため、高齢者向けの婦人服は販売不振に陥っている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いても、来客数は変わらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・数百万円の時計が数本売れたが、新型コロナウイルス感染症の影響が続いているため、来月どうなるかは予測できない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	単価の動き	・食品の値上げ等で客が無駄な買物をしない傾向にあり、客単価は前年比98.4%で推移している。平日の売上は苦戦しているが、週末の売上は前年並みで推移している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	単価の動き	・取扱商品の値上げが進んでいるため、特売商品の動きが活発になる一方で、値上げした商品の販売数が減少している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	販売量の動き	・行動制限がないため、前年と違い、夏休み、外出、帰省で、販売が上向くと予想していたが、新型コロナウイルス感染症や商品の値上げの影響で、伸び悩んでいる状況である。お盆に帰省しても、行楽や外出に流れる傾向があり、おもてなし等の内食需要は伸びていない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	お客様の様子	・お盆期間中の買物単価が上がらず、売上も上向いていない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・行動制限もなくなり、お盆休みを中心に来客数は増加しているが、値上げの影響もあり、購買意欲は低下したままである。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・農村地帯、高齢者地域という環境にあるため、なかなか需要が高まらないが、お盆の需要はまずまずだった。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・ここ5か月の来客数、客単価、売上が前年を上回っている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・着物を着て歌舞伎を見に行く企画をしたら、客がそのときに着る着物を購入してくれるようになった。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（代表）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症により生活習慣が変化し、客の購買意欲が低下している状況で、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加したため、自粛傾向に拍車が掛かっている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているため、客の動きが良くない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・台風の影響で前年同期の来客数が少なかったため、今年の方が来客数は多いが、販売にはつながっていない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・来客数、売上単価、売上がいずれも減少傾向にある。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・販売量は前年と余り変動はないが、仕入価格の高騰で、利益が上がりにくくなっている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [土産物]（経営者）	お客様の様子	・2019年までは8月が繁忙期であったが、この3年は客の動きが良くなく、売上も伸びていない。花畑を見たら、余り買物をせずには帰っている。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [ショッピングセンター]（管理担当）	お客様の様子	・土日などの来客数や買上率に大幅な変動はない。新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあり、危機感はあるものの、行動規制がないため、客の外出意欲はそれほど低下していない。ただ、ついで買いなど余分な出費を行うまでの購買意欲はなく、買上点数などは伸び悩んでいる。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・行動規制のなかったお盆は久しぶりに来客数が多くなっている。

□	一般レストラン (店長)	来客数の動き	・3か月前と比べると、新型コロナウイルスの感染が拡大しているが、来客数は以前ほど顕著に減少していない。ただし、本人や同伴者が新型コロナウイルス感染症の陽性者になったり、濃厚接触者になったりして、予約をキャンセルするケースが増加している。
□	観光型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・お盆までは宿泊客が多かったが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加していることから、お盆明けから宿泊客が激減している。
□	観光型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・日によって、来客数に大きな違いがあるため、景気が上向きか下向きかが分からない。
□	都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の急増を背景に、予約のキャンセルや新規予約の伸び悩みなど、集客にブレーキが掛かっている。一方で、新型コロナウイルスに関する行動制限がないため、大型ショッピングセンターや駅周辺では人出が増加しており、集客イベント等もちゅうちょなく開催されるなど以前のにぎわいを取り戻している。
□	都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・景気は徐々に回復してくると予想していたが、新型コロナウイルスの感染拡大で来客数に影響が出ており、全国旅行支援も始まらないことから、変化していない。
□	旅行代理店(支店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染第7波の影響を受け、キャンセルが多数発生し、売上が減少している。また、全国旅行支援も始まらず、環境面にも変化がないことから、景気は上向いていない。
□	タクシー運転手 タクシー運転手	来客数の動き お客様の様子	・日中、夕方は良いが、夜の利用が少ない。 ・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まっており、人の動きがやや停滞気味ではあるが、以前のような自粛感はなく、この3年で人々が新型コロナウイルス感染症に慣れてきた感じがする。
□	通信会社(営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症に関する行動制限がないものの、物価が上昇傾向にあるため、客の消費行動は平行線をたどっている。
□	通信会社(経理担当)	お客様の様子	・他社との競争もあるため、インターネットに関しては、現時点では大きな変化がない。
□	通信会社(工事担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加の影響もあり、景気は良くなっていない。
□	テーマパーク (管理担当)	お客様の様子	・政府による経済対策が行われていないため、景気は良くなっていない。
□	設計事務所(経営者)	お客様の様子	・建築物価の上昇や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、来客数や引き合いが低調な状況が続いている。
□	設計事務所(経営者)	単価の動き	・ウッドショックにより国内全体の木材価格が高騰し、また、直近では、人件費も上昇していて、建築コスト全体に影響が出ている。住宅の仕事量も減少し、景気が良くない状態が続いている。
□	住宅販売会社 (営業所長)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢、物価高、資材価格の高騰の影響で、客が将来ビジョンを描きにくくなっており、住宅購入をちゅうちょしている。
□	住宅販売会社 (営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増加傾向にあるが、人出は減少していない。
▲	商店街(理事)	お客様の様子	・客が新型コロナウイルス感染症に慣れてきて、人出が増えてきている。ただし、商店街では、来客数が増加しても、売上につながっていない。
▲	商店街(代表者)	単価の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で、来客数が減少し、商品の購入にもつながっていない。
▲	一般小売店 [茶](経営者)	販売量の動き	・様々な物の価格が上昇しているため、客の買い控えが起こっている。物価が上昇しても、自社の商品は値上げしにくいいため、困っている。
▲	一般小売店[印章] (経営者)	販売量の動き	・来客数や販売量が減少している。
▲	百貨店(営業担当)	販売量の動き	・前月末から新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、来客数が減少している。また、メーカーからの商品の供給が減少しているため、販売量や売上も減少している。
▲	百貨店(外商担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が過去最多を更新し、来客数が減少、客の購買意欲も3か月前と比べると明らかに低下している。

	▲	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急増しているものの、行動制限等がないため、内食需要が減少している。また、1品単価は前年を上回っているものの、物価高騰による客の節約で1人当たり買上点数が減少しているため、既存店売上は前年を下回っている。
	▲	スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大と、食品の値上げで来客数が微減している。
	▲	家電量販店（店長）	来客数の動き	・今月も来客数が前年比88%と減少しており、前年を上回る月がほぼなくなっている。
	▲	乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、例年よりも来客数が伸び悩んでいる。
	▲	その他専門店〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、人が街に出てこないため、来客数が減少している。
	▲	高級レストラン（事業戦略担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていないため、予約の伸びが鈍化している。
	▲	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・宿泊客については3か月前と比べ改善しているが、レストランの来客数が、3か月前と比べ少なくなっている。新型コロナウイルスの新規感染者数の増加、過去最大の感染者数などの報道がほぼ毎日あり、客が外食しようとする意欲が低下している。
	▲	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・新学期が始まる9月になると、客が子供に新型コロナウイルス感染症の影響が出ないか心配するため、旅行業にはマイナスとなる。
	▲	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、3か月前と比べ、夜の街はにぎわっていない。お盆もイベントが開催されず、寂しい状況だった。
	▲	ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・8月に入り、新型コロナウイルスの新規感染者数が急増し、コンペのキャンセルが続いている。1組単位の予約も余り伸びがないため、入場者は減少傾向にある。
	▲	競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・G3競走やお盆レースで売上が確保できたが、3か月前のSG競走の売上は下回っている。
	▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、年配の客が全く来なくなっている。
	▲	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・来客数が減少傾向にあり、客の意思決定までの期間も長くなっている。
	▲	住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・度重なる原価高騰で、販売価格を引き上げざるを得ないことから、客に買い控えの雰囲気が見受けられる。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・お盆の時期に多少観光客が増加したが、例年ほどではなく、地元の消費者の動きも極めて悪い。
	×	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・商品の値上げが、まだまだ続く。
	×	乗用車販売店（営業担当）	単価の動き	・メンテナンス等で追加整備が必要になっても、客が最低限の整備しかしなくなっている。
	×	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・4月の値上げ以降、客の消費意欲が低迷している。海外製の低価格商品が売れている状況である。政府のコロナ禍での経済推進や海外観光客の制限緩和は理解できるが、地方の地元店舗営業での個人消費が上がるようにプレミアム付商品券等の検討もしてほしい。何はともあれ、外国人観光客の消費に頼らないよう、人口増加への取組を早急に行わないと、景気の回復は難しい。
	×	住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・来客数がこの半年で一番少なくなっている。
	×	その他専門店〔時計〕（経営者）	単価の動き	・所得格差が発生しており、購買者が限定しているため、結果として売上が減少している。購入単価もボリュームゾーンがなく、高価格と低価格に分かれている。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、人の動きが極端に悪くなっている。また、ウクライナ情勢の影響で、物価が上昇し、景気が悪くなっている。
	×	通信会社（広報担当）	販売量の動き	・様々な品目が値上げしており、販売が減少している。
企業動向関連	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、半導体の生産も安定しつつあり、繁忙状況にある。

(中国)	○	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・5G関連や半導体向けのパッケージ基板の需要が拡大しており、売上は増加しているが、部材の調達難や調達コストの影響が大きいと、利益は減益となっている。
	○	輸送業	受注量や販売量の動き	・受注が増加し、景気はやや良くなっている。
	□	農林水産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で、来客数が減少している会社や従業員が感染して休業している会社があり、売行きが良くなっていない。
	□	繊維工業（財務担当）	受注価格や販売価格の動き	・原材料価格など物価の上昇が仕入価格に反映されている。
	□	化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・3か月前と比べ、良くなっている面もあるが、そうでない面もあり、全体では景気は変わっていない。
	□	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼業向け大型案件の納期が迫っており、非常に多忙な状況である。ただし、鉄鋼業向け流れ品の注文量は減少している。
	□	鉄鋼業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・全体的に荷動きが悪く、市況も停滞している。
	□	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・資機材の納期遅延や価格の高騰がしばらく継続するが、民間の物件では価格転嫁が難しい。また、予定物件についても、工程の見直しなど中止や時期の延期のリスクが高まる。
	□	輸送業（業務推進担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症に関する行動制限を行わないことで経済活動の維持に努めているが、新型コロナウイルスの新規感染者数の高止まりやウクライナ情勢等が景気に影響を及ぼし続けている。
	□	輸送業（総務・人事担当）	受注量や販売量の動き	・国内需要に増減がなく、中国向けも含め海外需要にも大幅な増減がないため、景気は変化していない。
	□	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・半導体不足などから、地元完成車メーカーの国内生産が通常の6～7割程度に減少した状態が続いている。このため、系列の地元部品メーカーの受注も大幅な減少が継続し、採算悪化の状態が続いている。
	□	金融業（貸付担当）	取引先の様子	・仕入価格が上昇していても、販売価格に転嫁できず、収益が増加しない中小企業が多く見受けられる。
	□	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で、受注量の減少が続いている。
	□	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規案件は一定量増加しているが、販売やリース部門は、半導体や資材不足から商品や車両の納入が大幅に遅れ、客への納品ができない状況にある。
	▲	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・異常な暑さ、物価上昇、新型コロナウイルスの感染拡大等により、受注量が5～7%減少し、厳しい状況が続いている。
	▲	木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・お盆明けの新型コロナウイルス感染症の更なる拡大による消費の冷え込みや調達資材の高騰などによるコストの上昇が利益を少しずつ圧迫している。
	▲	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量の減少傾向が顕著になってきている。
	▲	非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・半導体不足による生産調整やエネルギーコストの高騰が収益を圧迫している。
▲	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・工作機械業界からの受注は高水準にある。ある客先からの引き合いに対し、納期対応できないため、同業他社への発注となった。また、受注が前月より半減している客先もあり、業界内でも差が出ているようである。	
▲	通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	・原材料の価格高騰や半導体不足の影響で、ICT関連機器の納期に時間を要しており、計画が後ろ倒しになっている。それに合わせ、受注量などの動きが鈍くなっている。	
▲	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数や成約件数が落ち込んでいる。	
×	*	*	*	
雇用 関連	◎	求人情報誌製作会社（HR担当）	求人数の動き	・採用数の増加を目指す企業や目標とする採用数に至っていない企業が採用を強化しようとする動きがある。

(中国)

(中国)	○	職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・新規求人数の受理状況をみると、前年比で8.5%の増加、前々年比で2.9%の増加と、過去2年間との比較では回復傾向にある。産業別にみると、製造業、運輸業、金融・保険業、生活関連サービス業、娯楽業、医療福祉介護業など多くの産業が前年比で10%以上増加している。
	○	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・景気は新型コロナウイルス感染症の発生前の水準までには回復していないものの、9割程度までは戻っているという声も聞かれる。反転攻勢を掛ける企業が増加してきており、人材獲得の動きも出ている。
	○	民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	求職者数の動き	・求職者からの相談件数が前月比170%となっている。
	□	人材派遣会社（支社長）	採用者数の動き	・売手市場の状況は変わらないが、提案できる人材も不足しているため、就職決定数が伸びていない。
	□	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、新型コロナウイルス感染症の影響が小さい建設業や医療・福祉が前年同月比で5割増加となっており、慢性的な人手不足が続いている。求人全体では1割の増加となっている。
	□	職業安定所（雇用関連担当）	求職者数の動き	・県内で7月中旬から新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者等の対応で企業見学や選考等の遅れが生じ、7月も応募を希望する求職者数が前年同月比4.9%の減少となっている。また、就職件数も前年同月比7.1%の減少となっている。
	□	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・一般企業からの求人数は前年と同程度であり、景気は特に上向きでも下向きでもないと考えられる。
	□	その他雇用の動向を把握できる者	求人数の動き	・有効求人倍率は依然として1倍を大きく上回る状況であり、人手不足感がある。
	▲	人材派遣会社（経営戦略担当）	周辺企業の様子	・資源価格の高騰、サプライチェーンの停滞、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、景気はやや悪くなっている。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いているが、経済活動は通常化しており、以前と比べると活気はある。ただし、原価高騰等で先行き不安を感じる企業が見受けられる。
×	—	—	—	